

事業者ID

## 低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2019 年 8 月 27 日

（提出先）  
横浜市長

住所 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保字西  
1081-1  
氏名 大東ガス株式会社  
代表取締役社長 清水 宏之介  
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

### 1 特定電気供給事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	大東ガス株式会社 代表取締役社長 清水 宏之介	
主たる事業所の所在地	埼玉県入間郡三芳町大字藤久保字西1081-1	
発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
供給区分	<input type="checkbox"/> 特別高圧 <input type="checkbox"/> 高圧 <input type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）	
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小売電気事業</li> <li>弊社は、小売電気事業者同士でバランスィンググループを形成して電力を調達し、埼玉県を中心に、横浜市内においても電力小売事業を行っています。（現時点では市内において特別高圧の実績はありませんが、特別高圧も含めて事業展開を図っております。）</li> </ul>	
担当部署 連絡先	事業所名	本社
	部署名	総務企画部 エネルギー企画課
	電話番号	049-259-1139
	E-mail	denki@daitogas.co.jp

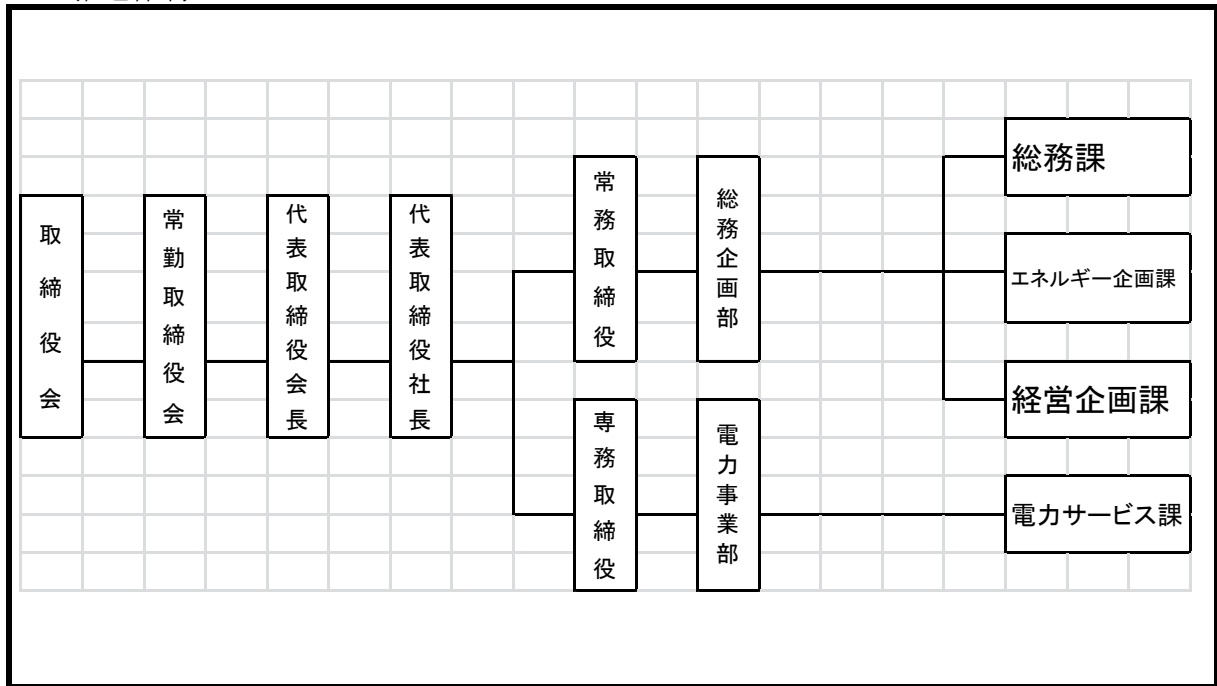
### 2 対象年度

提出年度 (当年度)	2019 年度
---------------	---------

### 3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスィンググループとして、契約している発電所では、可能な限り、熱効率が向上する供給パターンを採用する。</li> <li>・バランスィンググループとして、排出係数の良い発電者・事業者からの調達に努める。</li> </ul>	
--	--

#### 4 推進体制



#### 5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	本社 1 階受付前書棚スペースにて平日 8:30~17:00に閲覧可能。

#### 6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	HP ( <a href="http://www.daitogas.co.jp/daitodenki/faq/">http://www.daitogas.co.jp/daitodenki/faq/</a> ) 上に て公表

#### 7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の省エネ意識に貢献できるよう、インターネット上の会員制サービスにおいて電力使用量等のデータの見える化を推進しております。</li> <li>・お客様に省エネに資する情報提供を心がけるとともに、省エネ意識の向上、節電の呼びかけを行っております。</li> </ul>		
RE100に 対応した 電気の供給	対応の可否	<input type="radio"/> 対応可 <input type="radio"/> 一部対応可 <input checked="" type="radio"/> 対応不可
	備考	

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの二酸化炭素の量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	年度	年度	2019年度	2030年度
	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]
基礎排出係数			0.613	極力低減
把握率 (%)			—	—
調整後排出係数			0.718	極力低減
メニュー別排出係数				—
前々年度の排出係数に対する前年度の排出係数の増減理由				
排出係数の抑制措置のための取組	<p>・ バランシンググループとして、都市ガスを燃料とする電力供給量の拡大や、再生可能エネルギーによる発電からの購入に努め、将来的にはこれらの活動をより推進していくことで排出係数を極力低減することを目標にします。</p>			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	年度	年度	2019年度
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	計画値 [t-CO <sub>2</sub> ]
全国総量			59,132
市内			1

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	年度		年度	
	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [千kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量（総量）		—		—
再生可能エネルギー （FIT電気除く）				
太陽光				
風力				
水力				
その他 （                    ）				
再生可能エネルギー （FIT電気）				
太陽光				
風力				
水力				
その他 （                    ）				
未利用エネルギー				

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度	前年度
	年度	年度
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]
削減相当量		

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

<p>・ バランシンググループとして、自治体清掃工場における一般廃棄物発電、工場廃熱利用での発電などからの電力調達が出来よう更に努力します。</p>
--

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

<p>・ バランシンググループとして、都市ガスを燃料とする電力供給量の拡大や、再生可能エネルギーによる発電からの購入に努め、将来的にはこれらの活動をより推進していくことで排出係数を極力低減することを目標にします。</p>
--